

平成 29 年度 第 2 回霧島市健康・生きがいづくり推進協議会 会議要旨

開催日時	平成 29 年 11 月 30 日（木） 15:00～16:30		
開催場所	国分シビックセンター別館 中会議室		
出席委員	(医師会)竹原委員長、(薬剤師会)福森副委員長、(歯科医師会)久留委員、(市立医師会医療センター)風呂井委員、(県地域振興局)揚松委員、(校長会)福永委員、(ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社)森委員、(市運動普及推進員会)窪田委員、(第一工業大学)村上委員		
事務局	越口保健福祉部長、林健康増進課長、早瀬すこやか保健センター所長、吉村健康づくり推進室長、中村健康増進G長、上小園主査、松下主任主事		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	1 人
議事	(1) 健康きりしま 2 1 (第 3 次) 素案について (2) パブリックコメントについて (3) その他		
協議結果等の概要	委	事	事務局
(1) 健康きりしま 2 1 (第 3 次) 素案について ⇒事務局案を資料に沿って説明。委員からの主な意見は次のとおり。			
委 : 歯・口腔の健康分野において、課題の中に歯周病に対して特に課題が挙がっていないように見受けられるが、そこはどのようにお考えか。			
事 : 「次世代・働く世代・高齢世代の口腔機能の維持・向上に繋げる必要性があります」のところに、歯周病予防も一緒に総合的に文章表現をしたところであった。ご指摘を受けて、事務局でもこれで足りているか、もう少し検討したい。			
委 : 栄養・食生活分野が未達成が多いようで、肥満傾向の子供の割合や、20～60 歳代の肥満者の割合、朝食を食べる者の割合が低いということだが、朝食を抜くと 5 倍くらい太りやすいという研究結果もあるので、糖尿病やCKDにも繋がる肥満を防ぐ為にも、若い世代のころから朝食を取る取り組みに力を入れて欲しい。 身体活動・運動分野について、「日常生活において歩行又は同等の身体活動を 1 日 1 時間以上実施しているものの割合の増加」は達成である一方、「運動習慣者の割合(1 日 30 分以上の運動を週 2 回以上実施し、1 年以上継続している者の割合)」は未達成ということで、結果が相反するような気もするが、そこはどうか解釈すればいいか。 生活習慣病・がん予防分野について、課題には検診のことだけでなく、具体的な一次予防としてのたばこ対策のことも記載していただきたい。			
事 : 朝食については、子供のときからの習慣を身につけるのが第一と考え、個別目標に設定している。欠食する事の影響を課題として追加したい。 身体活動・運動分野については、前者は達成、後者は未達成ということで、「意識した運動を、継続して習慣的に行なう」ということに繋がっていないことが課題との認識の下、目標設定した。 生活習慣病・がん予防分野のご指摘について、がんとたばこことの関係の記載が不足しているので、今後含めていきたい。			
委 : 事業の所に、誰が、どのような機会に、いつ、誰を対象に実施するのかを、市民にとってもっとわかりやすく表記したほうがいい。対象が混在していてわかりにくい。			
事 : ご指摘を受けて、練り直してみたい。			
委 : 市の取り組みについて十分市民に認知されているのか疑問がある。			

- 事**：市報やホームページ、新聞やテレビ、ケーブルテレビやラジオ等を使って、今後も広報に努めたい。
- 委**：幼稚園を通して市のチラシを受け取って、今回女性検診について知った。学校関係等を通しての広報も有効ではないか。
- 事**：今後も広報手段について知恵を絞りたい。
- 委**：運動を始めるきっかけづくり、環境整備はどのようなことを考えているか。
- 事**：約10年を掛けて、89の各地区自治公民館で取り組んできた、健康生きがいくくりモデル事業および地域健康生きがいくくり事業の中で、自治公民館の中で独自のウォーキングコースを考案していただき、それをウォーキングマップにさせていただいた。そのようにして環境整備してきたものを利用していただく以外には、環境整備としては現在のところ考えていない。きっかけ作りについては一部の人には健診後の保健指導で行なっているが、具体的な所が難しい。知恵を絞ってはいるが、難しい面もあり、アイデアがあれば委員からも是非いただけると有難い。
- 委**：自治公民館の中にかぎらず、しらさぎ橋のウォーキングコースのように、広く一般市民が利用できる運動のための場所が増えるとよいのではないか。
- 委**：整備されている施設は使い勝手が良いとはいえない。公共施設で、料金も安く、夜遅く使える場所が増えるなど、選択肢が複数あった方が、運動習慣者の増加に繋がるのではないか。
- 事**：市民がスポーツに溶け込んでいく施策が大事だと考えるので、市民環境部や関係機関とも連携しながら取り組んでいきたい。
- 委**：むし歯予防については、フッ化物洗口を実施すれば目標達成できると考えるが、市および学校の考えはどうか。
- 事**：乳歯から永久歯に生え変わる、一番むし歯になりやすい時期に継続的に実施することがむし歯予防で一番重要なところとの認識の下で、小学校でも先生や保護者のコンセンサスを得ながら、フッ化物洗口についてはより拡充を図っていきたい
- 委**：非常にいいことなので保護者の理解を得ながら進めていきたいが、色々な考えの保護者がいるので、そこを乗り越えていかなければならない現状にあると考える。
- 委**：歯周病予防の目標値は、かなり難しいものと思うが如何か。また目標の表現は「歯周病は自覚症状がない疾患」と認識した上での表現とすべき。
- 事**：過去の経年変化なども見据えながら、実現可能な目標値について再度検討したい。
- 委**：分野別の具体的な取り組みの、「疾患の予防と健康管理」の項目に関連して、市立医師会医療センターで実施している市民公開講座や総合相談室も御活用いただきたい。また、事業所での取り組みについて、産業医へもっと市の取り組みを情報提供して欲しい。むし歯予防の成果等を、学校間で競い合うような取り組みもよいのでは。
- 事**：フッ化物洗口については、全国的なデータというよりも霧島市で身近な子供さんのデータがどのように改善していくかということを示したほうが、効果的なPRになると思うので、学校現場からむし歯の本数（DMF指数）の提供をしていただく等、学校の御協力をお願いしたい。
- 委**：フッ化物洗口は慎重にやって欲しいという立場にあるが、むし歯が多い子は家庭で親にかまってもらえていない子が多いということ、むし歯があることがいじめ発言に繋がることもあること等を考えると、むし歯対策は重要と思うが、うがいの回数が少なくて済む等、負担の少ないフッ化物洗口の方法があるのか。
- 事**：むし歯予防について、ご家庭でのフォローが難しいお子さんなどもいらっしゃる中で、一斉に学校でフッ化物洗口を行なうことは効果があると思うので、一斉にうがいはするが希望しないお子さんは水でうがいをさせていただくなど、方法等も検討しながら、先生や保護者の御理解を得ながら、拡充を行なっていきたい。
- 委**：薬剤師会としても様々な健康サポートを行っていきたいと考えている。市の取り組み

を市民へ周知する際には保健薬局もその窓口として協力したい。また、逆に薬剤師会として啓発のために作成したものを市報などで広報していただくことは可能か。

事：市報への掲載などは十分可能と考える。

(2) パブリックコメントについて

事務局が実施手続きについて説明。委員より異議は無し。

(3) その他

次回第3回推進協議会の開催について事務局より説明。

会
議
資
料

健康きりしま21（第3次）素案